

## 素鷲社

素鷲社は、八雲山の麓にある本殿の北側にある御社です。そこに祀られている御祭神は、日本古来の神話に登場する須佐之男命です。神社は大社造で建てられており、本殿の意匠に似ていますが、より小さくしたものです。

神話では、須佐之男命は日本の皇室の祖先である太陽神、天照大御神の弟にあたります。天上界の高天原から追放された後、地上の出雲の地に降り立ちました。八岐大蛇を退治し、後に妻となる櫛名田比売を助けたことで有名です。大国主神はその子孫の一人です。

神社の脇に積まれている砂は、全国の神々が毎年秋に集まるのを迎えるときの祭場である稲佐の浜の砂です。参拝者は浜辺で少量の砂を集めて神社に預け、同じ量の別の砂を持ち帰ります。この砂は家屋や土地に清めをもたらし、災いから守ってくれると信じられています。